

## SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	鈴木 健太	学校名	安城市立安城中部小学校
実施学年	4年	教科	学級活動
単元名	特別活動「リアルとネットのコミュニケーションについて考えよう」		

### 《学びを深めたいポイント》

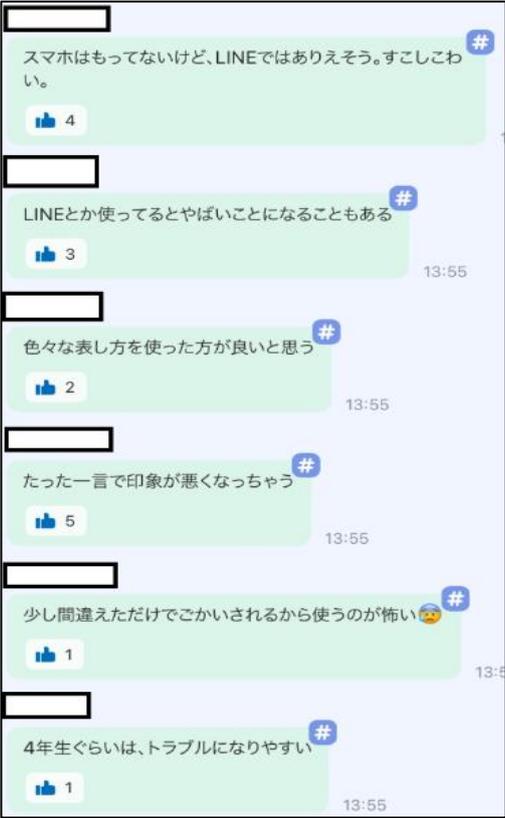
本学級の児童に事前の調査したところ、普段の生活でもスマートフォンやゲーム機によるネットでのコミュニケーションをしたことがある児童が多かった。一方で、「全くしたことがないからどんなものか分からない」と答えている児童も多かった。NHK for School の動画教材「スマホ・リアル・ストーリー たった一言のちがいが…」を教材とした。リアルとネットのコミュニケーションについて考えるにあたって、SKYMENU の「気づきメモ」でネットのコミュニケーションを体験することで、リアルとネットのコミュニケーションを比較することができ、学びを深められると考えた。それぞれの良さや悪さについて考えることで、自身のコミュニケーションについて振り返り、実生活に生かすことができると考える。

### 《SKYMENU 活用のポイント》

これまでにネットでのコミュニケーションを体験したことのない児童にも、「気づきメモ」で体験させることで、リアルとネットのコミュニケーションを比較できるようにする。また、振り返りでも活用することで、友達と気づきを共有し、「いいね」を押すことで、友達の考えに触れ、学びを深められるようにする。リアルとネットのコミュニケーションの良いところと悪いところを「発表ノート」で表にまとめる活動を行うことで、友達と考えを共有し、自分の考えを見つめ直せるようにする。

### 《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	<p>Ⅰ NHK for School の動画教材</p> <p>「スマホ・リアル・ストーリー たった一言のちがいが…」を視聴する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;内容&gt; 無料通話アプリに夢中の小6の凛。しかし、言い回しを誤解されたことで、仲の良い友人達から仲間はずれにされてしまう。</p> </div>		2の活動を充実させるために、動画の視聴中は、静かに動画を視聴するように指導する。

<p>展開</p>	<p>2 ネットのコミュニケーションを体験する。</p> <p>3 リアルとネットのコミュニケーションの違いを表で比較する。</p>	<p>気づきメモで、意見を出し合う。</p>  <p>提出箱で友達と意見を比較する。</p> <table border="1" data-bbox="549 1084 1088 1420"> <thead> <tr> <th></th> <th>リアル</th> <th>ネット (ラインなど)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>よい</td> <td>すぐに会話ができる 気持ちが伝わりやすい</td> <td>どんな所でも話せる。</td> </tr> <tr> <td>わるい</td> <td>かんでしまう 会わないといけない</td> <td>簡単に消えない 勘違いが起こる</td> </tr> </tbody> </table>		リアル	ネット (ラインなど)	よい	すぐに会話ができる 気持ちが伝わりやすい	どんな所でも話せる。	わるい	かんでしまう 会わないといけない	簡単に消えない 勘違いが起こる	<p>ネットでのコミュニケーションを体験させるために、会話ではなく、気づきメモのみで感想を伝え合うようにする。</p> <p>ネットのコミュニケーションの良さに気付けるように、他の児童のメモに「いいね」をつけたリ、スタンプを押したりするなどの機能を使っている児童を賞賛する。</p> <p>ネットのコミュニケーションの悪さに気付けるように、連投や心無い言葉など、不適切なことをしている児童がいれば意図的に取り上げる。</p> <p>リアルでのコミュニケーションの良さに気付けるように、困ったときには班で質問してよいことを伝える。</p>
	リアル	ネット (ラインなど)										
よい	すぐに会話ができる 気持ちが伝わりやすい	どんな所でも話せる。										
わるい	かんでしまう 会わないといけない	簡単に消えない 勘違いが起こる										
<p>まとめ</p>	<p>4 振り返りをする。</p>	<p>気づきメモで振り返りをしたり、共感した意見に「いいね」を押したりするようにする。</p>	<p>教師も、適切な振り返りができているメモに「いいね」を押す。</p>									

《実践を振り返って》

児童の振り返りでは、「ネットとリアルでのコミュニケーション、どちらにも良さがあるので、上手に使いたい」「ネットでは、文章を読み返してから相手に送ろうと思った」「今まで、ネットでおしゃべりしたことはないけど、これから気を付けていきたい」といった、コミュニケーションについて考えるきっかけになったことが伺えた。「気づきメモ」を使うことで、これまでネットでのコミュニケーションを体験したことのない児童も体験でき、リアルとネットでのコミュニケーションの良いところと悪いところについて考えることができた。今後も児童が情報化社会で適切な活用ができるように、情報モラルの指導を継続していきたい。